

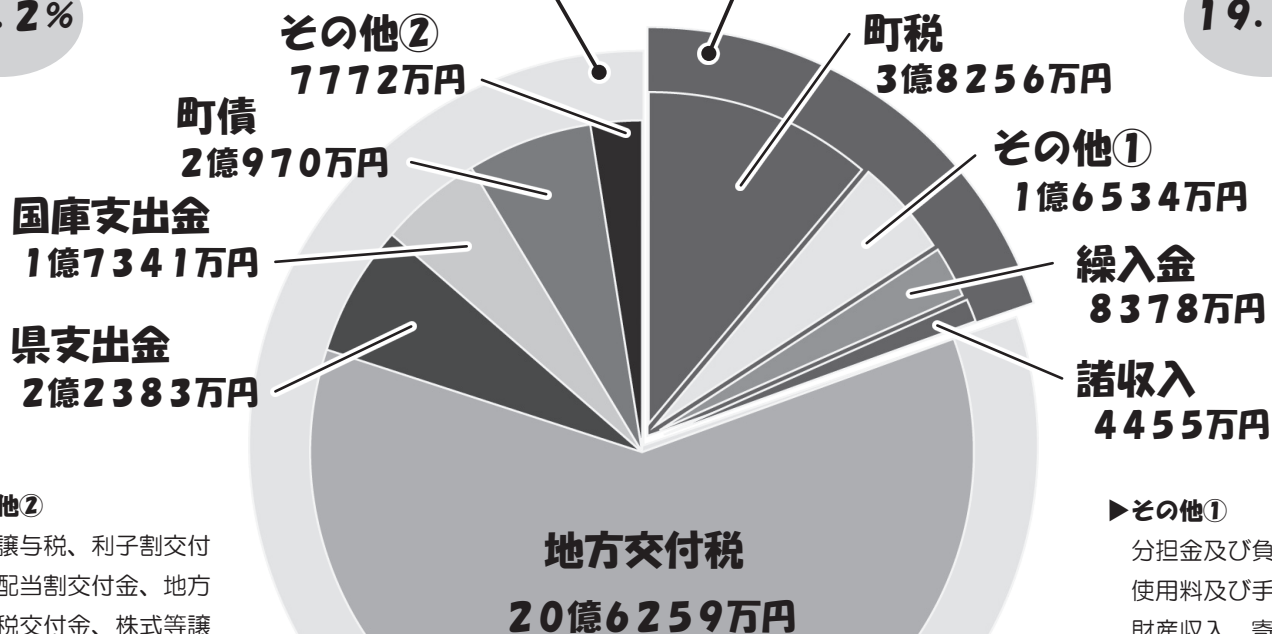
一般会計歳入総額 34億2348万円

依存財源 27億4725万円

自主財源 6億7623万円

80.2%

19.8%



▶その他②

地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、地方消費税交付金、株式等譲渡所得割交付金、自動車取得税交付金、地方特別交付金、交通安全対策特別交付金

▶その他①

分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰越金

▼平成24年度の主な事業

活力あふれるまちづくり

平成24年度決算では、歳入総額が約34億2348万円、歳出総額が約31億9734万円となりました。

【企画政策課】

平成23年度から始めたタクシー利用者補助事業の認定者は約370人で、病院受診や買い物など生活交通の確保が図られました。

また、地域活性化を目的に、元気なまちづくり交付金を継続。自治会の催しや地域資源を生かした取り組みが町内で行われ、地域に元気があふれました。

そして、日野町公舎の改修を行いました。これは、建てられてから長年が経過し、老朽化したために計画したもので、床のかさ上げとともに、内外装も改修。出雲街道根雨宿の景観に合う装いとなりました。

【教育委員会】

平成23年度から保小中一貫教育に取り組み、学校図書館司書を継続して配置し、幼児

期からの図書館教育の推進に努めたほか、教育の専門家である指導主事の派遣を継続。学校教育への指導助言、家庭教育の推進、放課後子ども教室の充実など、地域と家庭の教育力向上を進めました。

また、根雨小学校、黒坂小学校の耐震補強工事を行い、安心・安全な教育現場の確保にも努めました。

【健康福祉課】

健康診査・がん検診の休日検診、健康教室などを行い、病気の早期発見に取り組みました。

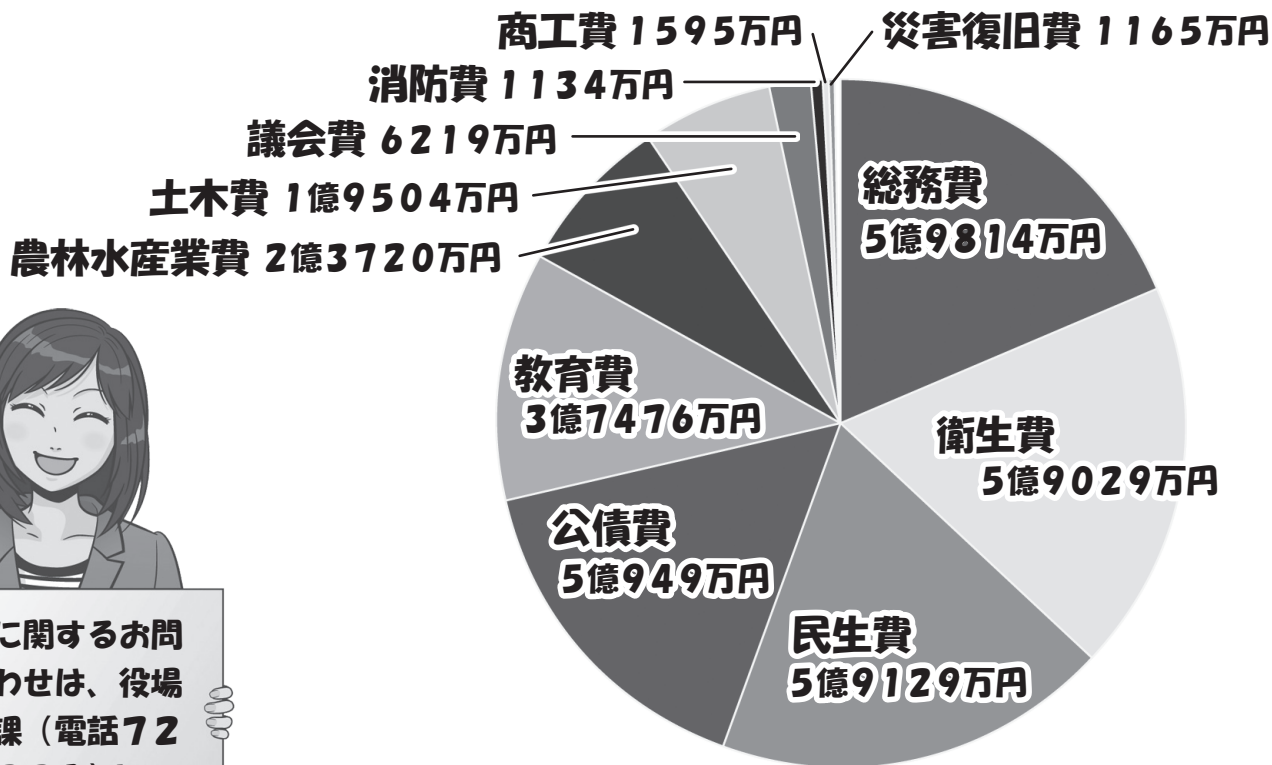
また、福祉事務所を開設。今まで県福祉事務所が行ってきた生活保護などの事務が移管され、福祉サービスがより利用しやすくなりました。

そして、高齢者ふれあい見守り事業も継続。高齢者見守り支援員が町内の高齢者のみの世帯を訪問し、相談・聞き取りなどを行いました。

このほか、新規就農支援や観光振興などにも取り組み、活力あふれる「きらりと光るまち」づくりに努めました。

タクシー利用者補助事業や元気なまちづくり交付金、町公舎改修、小学校校舎耐震補強など、活力あふれる「きらりと光るまち」づくりに約31億9,734万円を支出しました

一般会計歳出総額 31億9734万円



財政に関するお問い合わせは、役場
総務課（電話72-0331）まで。

▼一般会計《歳入》
厳しい状況に変わりなし
平成24年度一般会計の歳入総額は、前年度と比べ約0・4割減の約34億2348万円となりました。町税などの自主財源が約6億7623万円（前年度比約2・8割減）で全体の約19・8割、地方交付税などの依存財源が約27億4725万円（前年度比約0・2割増）で全体の約80・2割でした。

歳入全体に占める割合で見ると、国から交付される地方交付税が総額約20億6259万円、歳入の約60・2割と大きな割合を占めています。続いて、町の皆さんから納付いただいた町民税、固定資産税、軽自動車税などの町税が約3億8256万円、約11・2割、県支出金が約2億2383万円、約6・5割、町債が約2億970万円、約6・1割と続きます。

地方交付税は微増していますが、これは、特別交付税が増えたもので、普通交付税は減っていますので、依然厳しい状況に変わりありません。

▼一般会計《歳出》
適正な歳出を徹底
平成24年度一般会計の歳出総額は、前年度と比べ約0・3割増の約31億9734万円となりました。

歳出全体に占める割合で見ると、庁舎管理や防災、選挙、元気なまちづくり交付金などの総務費が約5億9814万円（約18・7割）と一番大きく、続いて児童手当や生活保護費などの民生費が約5億9129万円（約18・5割）、保健事業やごみ処理を行う日野町・江府町・日南町衛生施設管理組合負担金などの衛生費が約5億9029万円（約18・5割）という順です。

また、小中学校の運営や保小中一貫教育、人権教育などの教育費は約3億7476万円と、前年度と比べ約43・3割増と取り組みの充実が図られました。

なお、町債の返済金である公債費は約5億949万円、まだ高い割合を占めています。